

# ウズベキスタンの世界遺産とシルクロードを訪ねて

2022年9月3日(土)~9月11日(日)



レギスタン広場・世界遺産

NPO 法人 国際芸術家センター(IAC) 主催 文化視察団派遣シリーズ

全行程: 9日間 成田発着 アシアナ航空又は大韓航空利用予定

参加料金: 398,000 円 (催行人数 10 名様) 一人部屋利用追加料金 40,000 円

日次	旅程概要・宿泊地・食事
1日 9/03	午後、13:20 成田空港よりインチョン経由ウズベキスタンの首都タシケントへ。 午後、20:35 タシケント着後、ガイドと合流し、ホテルへご案内。 【タシケント泊】朝食×/昼食機/夕食○
2日 9/04	朝、空路にて自治共和国カラ・カルパクスタンの首都・ヌクスへ。 着後、ソビエト・アヴァンギャルドの絵画群が中心であるサヴィツキー美術館とバザールを見学します。 【ヌクス泊】朝食○/昼食○/夕食○
3日 9/05	朝食後、専用車にて世界遺産の町・ヒワへ向かいます。(200km、約3時間) 着後、ヒワの遺跡イチャン・カラ(内城)観光:「カルタ・ミナル」、「パフラン・マフムド廟」、「クフナ・アルク(古い城塞)」、「タシュ・ハウリ(宮殿)」など。 【ヒワ泊】朝食○/昼食○/夕食○
4日 9/06	朝、08:10 鉄道にてブハラへ。14:35 着後、ブハラ市内観光:「ラビ・ハウズ」、「タキ(丸屋根で覆われた市場)」など。 【ブハラ泊】朝食○/昼食○/夕食○
5日 9/07	日中、ブハラ市内観光:「カラーン・モスク」、「カラーン・ミナレット」、「ミル・アラブ・モスク」、「アルク城(内城)」、「イスマイル・サマニ廟」など。 【ブハラ泊】朝食○/昼食○/夕食○
6日 9/08	午前、スザニ刺繍の工房を見学。 午後、15:25 特急電車にて「青の都」サマルカンドへ。 【サマルカンド泊】朝食○/昼食○/夕食○
7日 9/09	日中、サマルカンド市内観光:「ティムールが眠るグル・アミル廟」、「レギスタン広場」、「シアブ・バサール」、「ビビ・ハニム・モスク」、「シャーヒ・ジンダ廟」、「ウルグベク天文台」など。 【サマルカンド泊】朝食○/昼食○/夕食○
8日 9/10	朝、08:25 急行列車にてタシケントへ。12:25 着後、タシケント市内観光:「ナボイ劇場」、「工芸博物館」、「百貨店」など。 夕方、21:00 帰国の途に。 【機内泊】朝食○/昼食○/夕食○
9日 9/11	午後、成田空港着。お疲れさま 朝食機

## ツアーのポイントは:

- 1)ウズベキスタン世界遺産都市,サマルカンド・ブハラ・ヒヴァを訪ねます
- 2) 幻のソビエト・アヴァンギャルド絵画で世界的に有名なサヴィツキー美術館見学
- 3) 中央アジアの「新幹線」、アフラシアブ号車にも乗れます
- 4)スザニ刺繍の工房を見学します

## 現地手配料金に含まれるもの:

1. 国際線(エコノミークラス)航空運賃
2. 宿泊費: 日程表記載の各地におけるホテル(お二人部屋を2名様でご利用料金)
3. ガイド料金: 日程表記載の各地におけるスルーガイド料金。
4. 送迎費: 日程表記載の専用車、電車代及びドライバー料金
5. 食事料金: 日程表記載の食事代
6. 入場料: 日程表記載の入場料代

## 現地手配料金に含まれないもの:

1. 空港施設利用料[480円]
2. 海外空港税諸税[9,160円(変動制)]
3. 燃油特別付加運賃[41,000円(変動制)]
4. 海外旅行保険料
5. 撮影料
6. 個人的費用

主催: NPO 法人国際芸術家センター

旅行手配: ソフィア株式会社

〒169-0072 東京都新宿区大久保 1-1-45

TEL:03-5292-7858 FAX:03-5272-6020

<http://www.sophia-net.com>

E-mail:satoru@sophia-net.com



サヴィツキー美術館



博物館都市ヒヴァ・世界遺産



ブハラ・世界遺産

\*モデル・プランなので他の都市の追加・期間の延長も可能です\*

または、交通機関の時刻および遅延などの影響により変更される場合があります。



# ウズベキスタンの世界遺産とシルクロードを訪ねて



国際芸術家センター(IAC)は60年以上、各国と文化交流を継続しています。そのIACならではのウズベキスタン文化視察の企画です。この企画は世界遺産に加え、旧ソ連時代のアヴァンギャルド絵画で名高いサヴィツキー美術館、伝統工芸品のスザニ刺繍の工房見学も組み入れた文化の香りいっぱいウズベキスタン旅行です。

中国産の絹をインド、西アジアそしてはるか遠くのローマ帝国まで運ぶ主要な東西交易路が【シルクロード(絹の道)】です。中央アジアに位置するウズベキスタンはシルクロードの中心中継点でした。古代より様々な民族が行きかい、群雄割拠が繰り返されました。ホレズム、ソグド、バクトリアなどがそれぞれ栄え、ペルシャがそれぞれの民族を駆逐し、覇権を握りました。

紀元前4世紀にはペルシャに代わりアレクサンドロス王が支配しました。その後もバクトリア朝、クシャーン朝、エフタルなどの国家が栄えましたが、この地域にとって主要な出来事は、8世紀の【アラブ人の侵襲】でした。この時からウズベキスタンのイスラム化が始まります。サーマン朝、カラハーン朝によりさらにイスラム化が進行していきました。そして13世紀には【チンギス・ハーン】率いるモンゴル大軍団が中央アジアを侵略し、破壊尽くしました。特にサマルカンドの被害は甚大で、住民の3/4が殺害され、市街地は跡形もなく破壊されと伝えられています。しかし14世紀にはチムールによって再興され【チムール帝国の中心地】になりました。ヒヴァのイチャン・カラ(1990年)、ブハラ歴史地区(1993年) サマルカンド文化交差点(2001年)はそれぞれの年に世界遺産に登録されました。



サヴィツキー美術館



サヴィツキー美術館



グル・アミル廟



スザニ刺繍・イメージ



シャーヒ・ジンダー廟群



カラーン・ミナレットとモスク